

第 16 回 防災会議 議事録

日 時 : 2019 年 4 月 21 日 (日) 16 時 30 分～18 時 00 分
会 場 : 高尾台町会会館
議 長 : 片岡 重人 (町会長)
司会・進行 : 永山 順一 (IDPT 作るチーム)
出 席 者 : 26 名 (別紙名簿)

【議題】

2019 年度高尾台町会防災活動について

【報告事項】

1. 今年度 (2019 年度) 高尾台町会防災システムの変更について
2. 伏見台小学校・高尾台中学校の防災システムの詳細について

【審議事項】

1. 2019 年度防災活動テーマ (案)
2. 2019 年防災アンケート (案)
3. 第 5 回防災懇談会企画 (案)
4. BBQ 大会開催に際して

■報告事項

1. 今年度 (2019 年度) 高尾台町会防災システムの変更について

従来は、「自主防災会」活性化を目的にスタッフを公募し組織した「IDPT 生きた自主防災高尾台」が主導し、ご協力いただける町会役員・班長を中心に防災活動を行っていた。

今年度は、防災活動を町会事業の一端と位置づけ、町会長が主催する「防災会議」が主体となり、「役員会」が決定した防災活動計画を、「一丁目班」「二丁目班」「三丁目班」の班ごとに行う「防災懇談会」が実施し、「防災勉強会」で評価・点検し、「防災会議」が提案・改善するシステムで、平時より防災力強化活動を展開し、防災意識の拡大と防災知識の蓄積を継続的に行うことを平成 30 年度役員会 及び 平成 31 年度定例総会で承認されたので実行に移す。

【目的】

高尾台町会役員の当て職で組織される「自主防災会」による防災活動では「防災意識の拡大と防災知識の蓄積」を十分に行うことが出来ないことが明らかになってきたことから、防災活動を町会事業として、丁目班単位で実施することで近所のコミュニティを作る機会とし防災力強化を図る。将来的には、班単位で実施しすべての町会員が参加する「防災懇談会」を目指す。

【詳細】

- ・ 防災会議：高尾台町会防災計画を提案・改善し「役員会」に上程する

- ・議 長：町会長
- ・参加者：町会長、副会長（各丁目班班長）、各丁目班主務（会計委員、総務委員）、防災委員（2020年度より選出）、IDPT、民生委員（町会より参加を依頼）

2. 伏見台小学校・高尾台中学校の防災詳細について

- (1) 伏見台小学校より「お迎え訓練（※詳細下記参照）」のマニュアルのコピー、共有の許可をいただく
- (2) 「学校の防災について」伏見台防災会会長へ提案予定
- (3) 高尾台中学校校長先生へ防災会議、勉強会又は懇親会へのお誘い予定

【目的】

高尾台中学校校、伏見台小学校と高尾台町会とで連携を図る

【経緯】

- 伏見台小学校より「お迎え訓練」のマニュアルをいただくことになった流れ
 - ① 4月19日に「学校の防災について」を知るために伏見台小学校へ講演を依頼するも、伏見台防災会に一任していることから断られる。伏見台防災会会長に提案することになった。
 - ② 項目①を踏まえた上で校長先生を間近に知るということは極めて重要なため、防災セーフティとして校長先生とコミュニケーションを図る目的で高尾台へお話（講演）依頼をしたが、「普段公民館の場や小学校で行われる催し物の際に地域の方に来ていただいてもらい触れ合っているのですその際にぜひお越しくください」と返答をいただく。
 - ③ 小学校で防災に関するマニュアルの有無を伺ったところ、震災時に発動する「お迎え訓練」のマニュアルがあり、そのマニュアルのコピー共有の許可をいただいた。

（※）お迎え訓練…児童の安全を優先し、学校内に留まった方が良い場合は校内の安全な場所で待機、後に安全確認を行った上で父兄に児童を返す仕組みのこと

- 高尾台中学校校長先生へ防災会議及び懇親会へのお誘いの流れ
 - ① 4月12日の「公民館顔合わせ」（公民館運営審議委員会）にて片岡町会長が伏見台小学校校長先生・高尾台中学校校長先生へ、高尾台の会議へのご参加をお誘いし、両名快諾。
※但し、あくまで懇親会の場であったことから確約というわけではない。
 - ② 「各学校における災害時の取り組み、マニュアルについて」の講演依頼は難しいが、防災における勉強会や会議への出席は前向きに検討していただけないかという点から改めて伺うことになった。

- 各学校が講演をできない理由について（参考：伏見台小学校）

災害時、学校側は避難所の場所提供をするのみで、避難所開設の際は伏見台の防災会が指揮を執ることになっている。そのため、学校側の備えやマニュアルはなく（自主的な「お迎え訓練」を除く）講演は困難である。

■その他の町内課題

1. 車の通り抜けが多い危険な道路に関する進展について

「生活道路の看板」の設置を希望していたが、指定道路への指定には様々な条件があるため即時の反映は困難である。現在高尾新町の町会長との話し合いに向けて準備を進めている。進展があり次第報告予定。警察署、市役所への相談済み。

2. 高尾台一丁目の道路に新しくカーブミラーが設置された件

高尾新町に縁のある市議会議員が、高尾新町の道路に危険性があると判断しカーブミラーを設置。実際は高尾新町ではなく高尾台一丁目の敷地だった。

■審議事項

1. 2019年度防災活動テーマ（案）

「築こう！非常時に助け合える「互近所」（ごきんじょ）を！」

【目的】

災害時に必要とされる「三助」

- ・自助：自分の身を自分の努力によって守ること、起きてしまったからでは間に合わない事前の備え
- ・共助：みんなで助け合うこと
- ・公助：市、県、国などの行政機関による救助、援助

上記に「近助：顔見知りであるご近所同士で助け合う方法」を加えることが重要

（防災システム研究所所長 山村武彦氏提唱）

以上のことから、「互近助」が機能するような関係を構築したい思いを反映した。

【改善案・反対意見】なし

2. 2019年防災アンケート（案）

【目的】

●質問③「この一年間にご家庭で新たに実際された防災対策は？」について
昨年実施した防災アンケートで約7割の家庭が転倒防止等の防災対策をしていないことが判明。また、8割の家庭では火災報知器設置済みだが、残りの2割の家庭では未設置であった。以上のことから、一年の間にどのような対策を取ったのかを知る目的で項目を設置した。

●質問④「一年以上前からご家庭に実施されている防災対策は？」について

意識の高いご家庭より情報を共有したいため。

例：家族会議、備蓄方法（ローリングストック）など

●質問⑤「受援者希望」について

事前に受援希望のご家庭が判明していると災害に関する危機情報を伝えることができるため。また、普段からコミュニケーションを取り受援者になる心構え・意識を持ってもらいたいため。

●質問⑥「支援者希望」について

受援者・支援者共に両方相俟ってコミュニケーションが日頃から行き届いていると非常時に助け合いがしやすくなるため、希望の意志があるか確認を取りたいため。

●質問⑦「家族構成（年齢）」について

新しく引越しをされたご家庭が増えたため。また、年齢が一つ上がっているので最新情報として把握するため。

【改善案】

(1) アンケートの『築こう！非常時に助け合える「互近助（ごきんじょ）」』だけでは「互近助（ごきんじょ）」に関して曖昧な認識・理解の欠如に繋がる可能性があるため、説明ページを設けることとする。

≪具体案≫

- ・アンケートは A4 用紙に両面印刷をする。
- ・表面：アンケートに関するお知らせ、下部に切り取り線を設置し「回答欄」を作る。
- ・裏面：表面切り取り線より上に「互近助（ごきんじょ）」の説明を設ける。
- ・アンケートは切り取り線以下の「回答欄」のみ提出、上部お知らせ・「互近助（ごきんじょ）」の説明は各家庭にて保管が可能。

(2) 質問②「ご家庭の防災対策について」が当初 100 点満点中自己採点形式だったが、内容が曖昧なため、具体的な項目を設置することに変更。

≪具体案≫

- ・防災ブック「東京防災（東京都発行）」を参考に具体的な 8 項目を設置。
- ・各家庭で防災対策の取れている項目に○をつける形式にする。

(3) 質問⑤「受援者希望」について、「受援者になる際、支援者は顔見知りであることを希望する」という意見も考えられるので聞く必要もあるのではないか。

(4) 質問⑥「支援者希望」について、「わからない」という回答も設置すべきではないか。

※隣人宅とあまり交流がないご家庭向け。

3. 第5回防災懇談会企画（案）

【確認内容】

- ・第1回～第4回（平成29年6月～平成30年10月）までの振り返り
参加対象者：町会長、副会長、町会の全班長、IDPTメンバー
- ・次回の第5回（2019年6月予定）開催以降対象者変更あり
参加対象者：町会長、三丁目班班長（副会長）、三丁目班長、三丁目マネージャー（会計、総務）、民生委員、IDPTメンバー15～20名
参加推奨（任意）：一丁目班班長、二丁目班班長

【第5回防災懇談会企画詳細】

- ・食の防災訓練の実施
「防災クッキング」の実施及び試食、並びに懇談会
参加者を3～4つのグループに分け、防災クッキングを実施
メニューは4品を予定し、全て調理予定

調理後、作った飲食物と、アルコールや乾きもの（別途用意）で食事をしながら懇談会を予定
開催後、修正点や改善点があれば都度反映させ、同様の防災懇談会を第6回・第7回にて開催する。

【開催予定日及び参加対象者】

- ・第5回：2019年6月16日（日）・・・三丁目班対象
- ・第6回：2019年10月20日（日）・・・二丁目班対象
- ・第7回：2020年2月16日（日）・・・一丁目班対象

【質疑応答】

Q1. 食材等の準備は誰がするのか？

A1. 役割分担の後、調達係が準備する。

Q2. 日程を3回に分けた理由は？

A2. 各丁目事情が異なるため、丁目ごとに分けて開催する。IDPTチームは各丁目で内容が変わってしまう（本筋から脱線してしまう）ことを防ぐためにまとめ役として参加。
班長のバックアップも目的としている。

◎将来的な理想

来年からは参加対象者が今年度よりも増加するため、班単位での開催を目標としたい。
「要受援希望者・支援希望者」が班の中で話し合いができると理想的。
その土台として今年度は各丁目ごとに分けて開催をする。

◎将来的な目標（3～4年以内を目安とする）

- ① 自主的に近所同士集合し、防災の打ち合わせをするようなことをどこでも当たり前で

きるようになりたい。今回はその入り口になるよう企画。

現状の班編成について疑問や問題点の発生及び解決を、町会主導ではなく各家庭自主的に意見が上がることを期待している（隣近所及び自身の家庭の詳細や懸念点については各家庭が一番よく把握している）

- ② 毎年 BBQ で町内のコミュニケーション向上を図っているが、要受援希望者は参加し辛い傾向にある。身体的な不自由等プライベートに関する内容もあるため、町会で情報管理をするのではなく、近所同士理解し合えることが理想的。災害時は誰が救助に向かうのか等の話し合いができるようになりたい。

Q3. 初回開催対象を三丁目にした理由は？

A3. 班が少ないため。

Q4. 現在 IDPT メンバーの竹内陽子が試食作りに専念しているが、当日先生を増やすべきか？

A4. 4品ともとても簡単にできるので一人で大丈夫。レシピをまとめる予定。

Q5. 防災クッキングの4品、第5回懇談会時にぶっつけ本番でも大丈夫か？

A5. 5月25日（土）開催の防災会議の際に少し試食会をしてもいいかもしれない
詳細は担当メンバーで改めて決めて情報共有する予定。

Q6. 懇談会にテーマを作るべきか？

A6. （回答なし）

4. BBQ 大会の開催に際して

【質疑応答】

Q1. 5月開催の BBQ 大会にて水消火器訓練を実施するが、防災の切り口でその他案はあるか？

A1. 防災食のイメージをつけてもらうためにマシュマロトーストを作る。

◎具体案

1.発泡スチロール（当日配る肉や野菜と共に）の中にマシュマロトーストの材料を一緒に入れる

2.作り方のアナウンスをし、各班で作ってもらう。

※作り方がわからなくなった班には本部まできてもらうよう誘導する。

Q2. 片岡町会長に BBQ 大会冒頭で「BBQ はコミュニケーションを図る場でもあるが、防災訓練にもなる」という旨を説明してもらうことは可能か？

A2. 実施する 説明の他、町会で備蓄している防災グッズの展示も予定。

以 上

次 第

◆防災勉強会 16時00分～16時30分

進行並びに説明：IDPT知るチーム清水義博

1. 2019年度企画内容・日程説明：

1. 「東京防災」をテキストに講師が自ら学びたいテーマを選び共に学ぶ勉強会
(講師は「知るチーム」から選抜)

2019年 4月21日(日) 16時～16時30分 テキストを配布・進め方説明

2019年 5月25日(土) 16時～17時00分 講師が選択したテーマについて共に学ぶ

2019年 9月15日(日) 16時～17時00分 講師が選択したテーマについて共に学ぶ

2. 家具転倒防止勉強会(対象者：民生委員・班長・防災会議メンバー)

→班長さんが丁目民生委員の協力を得て高齢者宅を訪問、
要支援ニーズ把握に繋げる

2019年 7月21日(日) 16時～17時30分

3. (仮)2019年度活動を振り返り2020年度活動を考える

2020年 1月19日(日) 16時～17時30分

◆防災会議 16時30分～18時00分

議 長：町会長 片岡重人

司会・進行：IDPTつくるチーム 永山順一

議事録作成：IDPTつくるチーム

1. 2019年度防災活動テーマ(案)

提案者：IDPT伝えるチーム 竹内陽子

2. 2019年度防災アンケート(案)

提案者：IDPT知るチーム 清水義博

3. 第5回防災懇談会企画(案)

提案者：IDPT伝えるチーム 竹内陽子

議題：2019年度（令和元年）高尾台町会防災活動

平成31年 4月21日

出席者（26名）

◆2019年度防災活動テーマ（案）：

提案者：竹内陽子（参考資料 p10）

築こう！非常時に助け合える「互近助」を！

（確認：活動と役割分担）

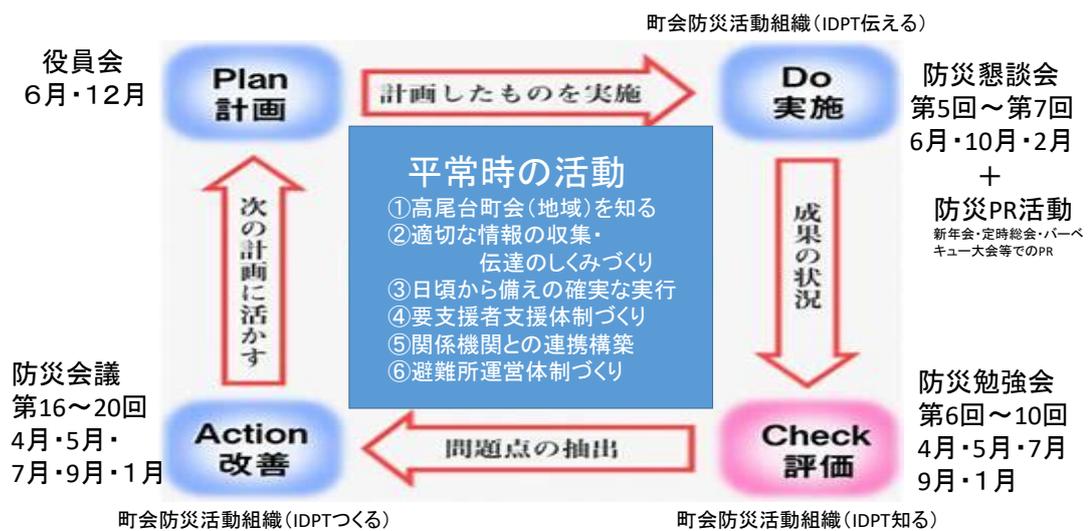
◆平常時の活動

年5回の防災会議と防災勉強会、丁目単位の年3回の「向う三軒両隣防災懇談会」並びに町会行事での防災訓練・啓蒙活動及び伏見台校下防災訓練への参加協力とする。

◆PDCAをまわす役割分担：

役員会（PLAN）⇒防災懇談会（DO）⇒ 防災勉強会（CHECK）⇒ 防災会議（ACTION）
IDPT「伝える」 IDPT「知る」 IDPT「つくる」

高尾台町会防災会の活動計画



◆IDPT チームサポート内容：

DO 伝えるチーム … 防災懇談会の企画・運営、町会行事での PR・啓蒙、災訓訓練

CHECK 知るチーム … 防災勉強会の企画、運営、情報ニーズ、実態アンケート調査

ACTION つくるチーム … 防災会議の企画、運営、記録、マップ、マニュアルの作成

◆スケジュールと内容：

◆防災勉強会：

参加対象：会長・3 副会長・IDPT（次年度以降は+防災委員）

運営担当：知るチーム

（内容：p 1 「次第」参照）

◆防災アンケート調査：（説明者）清水義博

実施対象：丁目班別に全世帯対象

運営担当：知るチーム

<実施スケジュール>

2019 年 4 月 21 日：防災会議にてアンケート案を検討

2019 年 5 月 26 日：役員・班長連絡会にて班長に用紙配布し、主旨説明とご協力お願い

調査期間：2019 年 6 月 1 日～6 月 15 日

2019 年 6 月 23 日：役員・班長連絡会に班長さん持参にて回収

「つくる」チームにて集計→2019 年防災会議にて分析結果公表

防災アンケート 2019（案）

高尾台町会自主防災会は、1995年（平成7年）に結成され防災訓練や啓蒙活動を鋭意行ってきました。平成28年には従来組織の中に“自らの家族を守る知識やノウハウの蓄積”を図るスタッフ組織「生きた自主防災高尾台（Independent Disaster Prevention Takaodai 略称：IDPT）」を設ける規則改正を行い活動して参りました。その中で得られたのは「災害に強い町」とは、常日頃からのお付き合いを通してお互い助け合う町であるという姿でした。私たちはそのような町を目指し平成30年度には従来の「自主防災会」を解体し町会組織に組み込む提案を行い、新たな役員として各班に防災委員を選任頂く提案を行い賛同頂きました。防災委員を選任頂くのは令和2年（2020年度）からであり、今年2019年度は、来年の新たなスタートに向けた基礎固めの重要な年となります。その意味から、令和元年（2019年度）防災活動のテーマを「築こう！非常時に助け合える「互近助（ごきんじょ）」」と致しました。

活動の為の第一歩は、私たちのコミュニティの現状を知ることであり、その上でリスクや危険度を判断し自分たちの身と財産を守る為に必要な備えを整えてゆくことになります。

調査の主旨をご理解頂きご協力を賜りたくお願い申し上げます。ご記入頂いた本用紙はそのまま、班長さん宅（下記）に6月15日までにお届け頂きたくお願い申し上げます。

尚、本調査は「認可地縁団体 高尾台町会 個人情報保護規程」に基づき実施するものです。取得した個人情報は、調査目的である「高尾台町会の防災力強化」以外の目的では使用しません。

○丁目 ○班 班長：高尾台太郎 高尾台○丁目○○（Tel.○○○-○○○○）

班長さんへのお願い：提出頂いた用紙を6月23日（日）19時「役員・班長連絡会」に持参下さい。

記

お名前： _____

住所： _____

① あなたにとって最も備えが必要と思う災害は何ですか？（1つに○印を付けて下さい）

（1）地震 （2）台風 （3）大雪 （4）大雨・洪水 （5）土砂崩れ

② ご家庭の防災対策は100点満点で採点すると何点ですか？（ 点 ）

③ この1年間でご家庭の防災対策で新たに実施されことは何ですか？

④ 1年以上前からご家庭の防災対策で実施されていることは何ですか？

⑤ 地震等甚大な災害が発生しご近所の助けが必要な時、

助けを受け入れたいとお考えですか（受援者となる） はい いいえ

⑥ 逆にご近所に何かあった場合、率先して助ける側、支援者となる はい いいえ

⑦ ご家族の年齢別人数を該当年齢枠にご記入下さい（家族構成）

年齢	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-
人数																					

◆防災会議

1. 構成メンバー：会長・3副会長・IDPT
2. 運営担当：つくるチーム
3. 位置づけ：高尾台町会平常時防災活動の企画並びに運営を決定する会議
4. 日程並びに会議目的：

2019年 4月21日（日）16時30分～18時

1. 2019年度防災活動テーマ
2. 2019年度防災アンケート（案）
3. 第5回防災懇談会企画並びに第6回、第7回を考える

2019年 5月25日（土）17時00分～18時

1. 第5回防災懇談会役割分担の確認

2019年 7月21日（日）17時30分～18時

1. 2019年度防災アンケート回収状況とまとめの方向性
（16時～17時30分：家具転倒防止勉強会）

2019年 9月15日（日）17時～18時

1. 第6回防災懇談会役割分担の確認
2. 2019年度防災アンケート調査結果

2020年 1月19日（日）17時～18時

1. 第7回防災懇談会役割分担の確認

◆防災懇談会

運営担当：伝えるチーム

2019年 6月16日（日）15時～20時

第5回防災懇談会

2019年 10月20日（日）15時～20時

第6回防災懇談会

2020年 2月16日（日）15時～20時

第7回防災懇談会

「第5回 防災懇談会」(実施日:2019.06.16) 企画説明資料

企画提案・説明: IDPT 伝えるチーム 竹内陽子

過去の防災懇談会の振り返り

- | | | |
|-----|----------|--|
| 第1回 | 平成29年6月 | ビデオ上映(稲村の火)
あなたが防災活動をする上での障害は何か?
をテーマに意見交換 |
| 第2回 | 平成29年9月 | 平松教授による講演会&フィールドワーク
テーマ「森本富樫断層に地震が起こったら」 |
| 第3回 | 平成30年6月 | 1部 勉強会 自助が大切な事について
2部 懇談会 具体的に自助を考える |
| 第4回 | 平成30年10月 | 防災アンケートの結果についてのお話と
「安全・安心なまちづくり」について
提案&意見交換 |

第5回 令和元年6月予定 少し切り口を変えてみたい

今年度は丁目単位での開催予定という事で、具体的な行動に移したいと思います。

楽しく活動することにより、活動の達成感を得られ、次の活動への意欲へとつなげたい。

そこで、ご提案させていただきます。

第5回防災懇談会において、防災クッキングはいかがでしょうか。

最大のメリットは、お料理をしていると、自然と会話が生まれます。

お近づきの一歩になるのではないのでしょうか。

いざという時の「互近助」のために・・・

いつ起きてもおかしくない大地震

もし起こった場合、「在宅避難」をする人が

多く発生すると言われてています。

余震が続き、電気やガスや水道などのインフラも

止まる中、暮らしを支えるために大切なもの

それは「ごはん」

発生直後でも慌てずに、お腹と心を満たす

「ごはん」が簡単に作れるように

一人ひとりが「もしも」に備え

防災について、気付き、考え、行動出来るように

未来のために、いま、

備える

第5回向こう三軒両隣防災懇談会(案)

食の防災訓練(防災クッキングと試食及び懇談会)

- ① 対象 3丁目班長、町会長、各丁目副会長、IDPT
- ② 目的 防災調理体験を通して、防災意識向上とスキルの習得
加えて、共同作業によって得られる連帯感により、お近づきの一歩目にしたい
- ③ 実施日 6月16日(日)15時～20時(準備、後片付け含む)
- ④ 調理メニュー 主食及び主菜を2品ずつ
 - ❶ レトルトで作るカレーにゆうめん(主食)
そうめんとレトルトカレー
 - ❷ オレンジパンケーキ(主食)
ホットケーキミックスとマーマレード
 - ❸ さんまとキャベツの煮物(主菜)
さんま缶詰とキャベツ
 - ❹ ひじきとコーンのなめ茸和え(主菜)
ひじきドライパックとコーンドライパック、なめ茸

※ ❶❷❸はカセットコンロを使用し❹は熱源不要

※ 包丁やまな板は使用しません

※ 調理時間は1時間強を予定しています

準備品

種別	品名	数量	単位	価格
カレーにゆうめん	レトルトカレー	8	袋	¥3,440
	そうめん	5	袋	¥1,250
	小口ネギ	2	袋	¥400
オレンジパンケーキ	ホットケーキミックス	2	袋	¥440
	マーマレード	4	瓶	¥864
さんまとキャベツの煮物	さんま缶詰	15	缶	¥2,670
	キャベツ	6	玉	¥1,200
	おろししょうが(チューブ)	4	本	¥800
なめ茸和え	ひじきドライパック	15	缶	¥2,910
	コーンドライパック	15	缶	¥1,755
	なめ茸	4	瓶	¥400
合計				¥16,129

(30人分での積算)

※これ以外に水 20×6本、カセットボンベ、鍋、ボール、お玉、ポリ袋、紙皿等食器、割り箸が必要です。

2019年度 第1回 防災勉強会 会議録

(作成者：川原利治)

日 時：平成 31 年（2019 年）4 月 21 日（日）16 時～16 時 30 分

会 場：高尾台町会会館

出席者：26 名（別紙名簿のとおり）

1. 2019年度企画内容・日程説明

I D P T 知るチームの清水義博氏の進行並びに説明により行われた。

【内 容】 レジュメに基づき、今年度の勉強会の内容と日程について説明があった。

- (1) 東京都が作成した冊子「東京防災」をテキストにして勉強会を開催する。

今回は、清水義博氏が講師となり、「東京防災」の「今やろうマーク」に焦点を当てて説明があった。

次回は、5月25日（土）16時～

その次は、9月15日（日）16時を予定。

- (2) 家具転倒防止勉強会を開催したい。

民生委員の協力を得て、高齢者宅の安全対策について支援できないか、検討していきたい。

*次回は、5月25日（土）16時～

講師は I D P T 知るチームの川原利治が担当する。

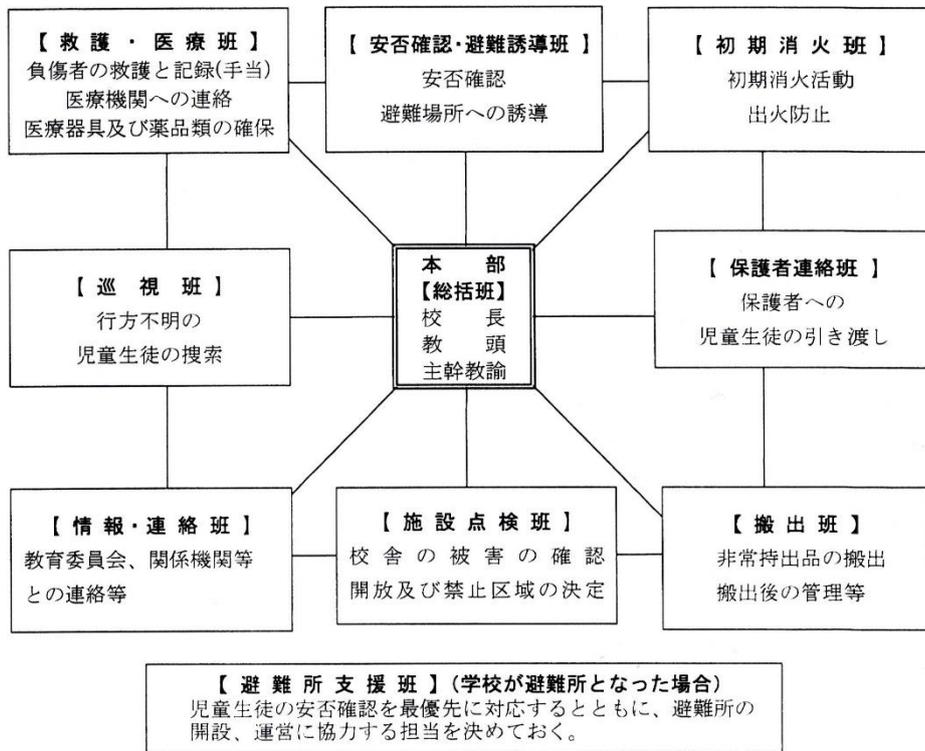
(以上)

追記：

勉強会にてお話した、伏見台小学校での防災対策資料は、押野校長先生から4月22日に受け取りました。情報共有の観点から会議録に添付します。(清水義博)

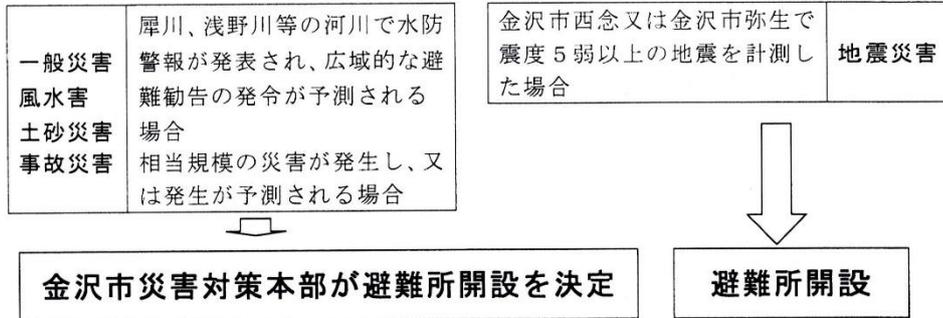
■ 地震災害に関わる基本的な対応

① 校内対策本部の設置



■ 災害時の防災避難所となった場合の対応

① 防災避難所となる場合



② 防災避難場所となった場合

校内対策本部を設置

- 1 児童の安全に関する対応
 - (1) 児童の安否の確認、市教委への報告
 - (2) 教師・児童の以後の行動を確認、指示
 - (3) 児童の下校方法（集団下校又は保護者引き渡し）の判断
 - (4) 緊急連絡網及び配信メールにて保護者に連絡
 - (5) 学校の施設・設備の被害状況の確認、市教委への報告
- 2 避難所に係る対応

災害対策本部担当職員が配置されるまでの間、避難所の運営に係る業務を担当し、児童の安全確保を最優先するとともに、必要に応じ避難所の開設、運営に協力する。

 - (1) 初動期に必要な業務
 - ① 児童の安否の確認、避難誘導
 - ② 避難者の受け入れ、誘導
 - ③ 救命・救急措置
 - ④ 災害対策本部等との連絡、情報確認
 - ⑤ 避難者への情報伝達
 - ⑥ 備蓄物資の配給
 - (2) 災害対策本部が管理するまでの移行期に必要な業務
 - ① 避難所開設、避難者名簿の作成
 - ② 災害対策本部への避難状況等報告、救援物資要請
 - ③ 避難所運営の協力と役割分担決定
 - ④ 災害対策本部、避難者自治組織、地域自主防災組織等への順次移管
- 3 災害時の防災避難場所となった場合の開放スペース

校長室、職員室、PCルーム以外、可能なスペースを開放する。